

九州北部四大学医学教育連絡会議が開催されました

去る 2 月 23 日に、九州北部四大学医学教育連絡会議が開催されました。本会議は、産業医科大学、福岡大学、久留米大学、佐賀大学の四大学と、オブザーバー参加校（九州大学、長崎大学）によって年 1 回開催している教育実務者会議です。元来、大学はその設立理念や使命がそれぞれ異なりますから、教育に関する交流というものはあまりありません。各大学がそれぞれ、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠しつつ、国内外の先進的な取り組みに学んで、独自性あるカリキュラムを開発しようとしています。情報交換のための全国的な組織としては、日本医学教育学会をはじめ、いくつかの学会、研究会が活動していますが、それらは教育に関する学術的なレベルの交流を主目的としているだけに、教育現場が求めている実務的な諸情報についてはなかなか交換の場がありません。

本会議は、同じ地域性を有し、互いの事情をよく知っている大学が集い、率直な意見交換を行う場です。あたかも症例検討会のように、(学会には出せないような)問題事例の現実的かつ即効性のある解決策を議論し、先進的な取り組みやその成果を共有しています。

今回も、進級判定方法について、卒業試験の時期・方法、医学英語教育について、定員増への対応、学生の感染症予防対策等々について議論を行いました。教員や設備のキャパを超えた定員増が強いられる中でも、教育の発展を推進するためには地域の協力体制が不可欠であることをあらためて感じるとともに、新たな教育 GP に発展する可能性を秘めた共同企画案も誕生しました。(小田 康友)

学生表彰について

学生表彰は、定められた期間(今回は平成 21 年 2 月 1 日から平成 22 年 1 月 31 日まで)の間に学術研究活動、課外活動並びにボランティア活動や人命救助等の社会活動で顕著な活動が認められた学生個人や団体を対象に大学が表彰する制度です。前回までと違い、今回からは九州山口医科学学生体育大会や西日本医科学学生総合体育大会での優勝は全学表彰の対象から外れ、医学部での表彰の対象とすることになりました。

今回、表彰に係る医学部内での推薦を指導教員や部活の顧問の先生方をお願いしたところ、全学表彰の対象として 8 件、医学部での表彰の対象として医学科及び看護学科の成績優秀者各 1 名ずつと課外活動分野で 12 件の推薦をいただきました。

なお、授与が決定した学生個人や団体については、後日医学部ホームページに掲載する予定です。(学生サービス課)

大学病院連携型高度医療人養成事業報告会を行いました

大学病院連携型高度医療人養成事業とは質の高い専門医及び臨床研究者を養成するプログラムに対し財政支援を行うことにより、大学病院及び地域医療の活性化を促進し、将来の医療を担う医師養成の推進を図ることを目的とした文部科学省の事業で、現在全国で 21 のプログラムが実施されています。佐賀大学は長崎大学と連携した「出島発、肥前の国専門医養成プログラム」と九州大学・福岡大学との連携による北部九州における循環型高度医療人養成事業に参加しており、平成 22 年度の事業報告会を 3 月 2 日に開催しました。

報告会では大学病院連携型高度医療人養成事業の内容についての説明や、他大学における高度医療人養成事業のご



紹介の後、長崎大学に交流研修に行かれた後期研修医の先生や現在長崎大学から佐賀大学に研修に来られている先生の研修報告、佐賀・長崎両大学の指導医の先生のご報告、九州大学との交流研修の計画についての報告、後期研修医の先生方と指導医の先生方によるパネルディスカッションなどが行われました。

複数の大学が連携して医療人を育成していくことにより質の高い専門医・アカデミックマインドを持った臨床研究者を養成

得意分野の相互補完により幅広い知識・技術を習得
教育研修体制の充実と必要な症例数の確保により専門医取得を支援(後方支援病院)

専門研修医の循環の活性化により地域の医師不足への貢献

などの効果が期待されており、平成 22 年度も更に有意義であったと思っただけの活動を行っていきたくと思っています。(吉田 和代)

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、阿部博美

ご意見をお待ちしています(oday@cc.saga-u.ac.jp)